

〔海況概要〕

今週の本県近海の表面水温は、25～28℃台を示し、やや高めからかなり高めでした。

〔漁況概要〕

- 中小型まき網――西彼地区では、マイワシなどが1日1統当たり25トンの水揚げで、前週の1.7倍（前年を上回った）。五島奈留地区では、マアジなどが1日1統当たり1トンの水揚げで、前週並み（前年を下回った）。北松南部地区では、マイワシなどが1日1統当たり18トンの水揚げで、前週並み（前年を上回った）。
- イカ釣――スルメイカは、対馬東岸地区では、1日1統当たり3kgの水揚げで、前週の1.5倍（前年を下回った）。壱岐勝本地区では、1日当たり144kgの水揚げで、前週の4.1倍（前年を下回った）。ケンサキイカは、対馬東岸地区では、1日1統当たり53kgの水揚げで、前週の1.3倍（前年を上回った）。壱岐勝本地区では、1日当たり998kgの水揚げで、前週の3.5倍（前年を上回った）。五島奈留地区では、1日1統当たり19kgの水揚げ、前週の1.3倍（前年を下回った）。
- 定置網――対馬西岸地区では、マサバなどが1日1統当たり75kgの水揚げ。対馬東岸地区では、ケンサキイカなどが1日1統当たり330kgの水揚げ。
- 一本釣――北松宇久地区では、イサキが1日当たり307kgの水揚げで、前週の3.2倍（前年を上回った）。野母地区では、マアジが1日1統当たり6kgの水揚げで、前週の75%（前年を下回った）。

〔日本海スルメイカ情報〕

今期（7/24～7/30の7日間）の沖合イカ釣（船凍船）は、佐渡沖で操業。アカイカ漁は北太平洋で操業。

沿岸イカ釣（氷蔵船）は、対馬及び山口沖、山陰沖、能登沖、佐渡沖で操業。

鳥取県西部（沖合船）は、入港船なし。

（漁業情報サービスセンターより）

〔お知らせ〕

漁海況週報や漁海況通信は、長崎県庁ホームページ「地方機関 総合水産試験場」の「漁海況情報」からご覧いただけます。

<https://www.pref.nagasaki.jp/section/suisan-shiken/index.html>